※令和４年度以降入学生用

学校番号	2102

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	（学）書造形演習	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字語句や漢字かな交じり文を題材にして書法の基礎を学びます。
・篆書・隷書の用筆法を用いて四君子（蘭竹梅菊）の画法を学び、書と画の線や造形を学びます。
・顔彩を用いて設色の基本的技法を学びます。
・詩書と画の空間的融合を図り作品を制作します。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通じて、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主体的かつ創造的な書道の表現をするために必要な知識や技能を身につけ、効果的に表現方法を工夫している。	書のよさや美しさを感じ取り感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現している。	書作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書道文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	漢字仮名の学習 四君子の画法	・漢字語句や俳句や短い詩文を題材に書作する 蘭竹の画法を学ぶ	a: 表現意図を考えて実作することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: 書法について理解し、制作に生かしている。蘭竹の画材の特性、構図の働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 表現の工夫や美しさなどを感じ取り、作品などついて積極的に理解を深めようとしている	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
後半	四君子の画法 顔彩の設色 作品制作	梅菊の画法を学ぶ 顔彩を用いて身近なものを描く 詩書画融合作品の制作 作品互評会	a:形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 b: 梅菊の画材の特性、構図の働きを考えて表現の構想を練っている。顔彩や用具の特性を理解し、目的や計画を基に豊かに表現している。 c: 詩書画作品の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度